



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	管理の必要な緑地面積及び管理予算は年々増加傾向にある。しかしながら、管理の必要な緑地面積の増加に対して、予算が不足している状況が続いている。その中で、特に緊急性の高い箇所から順番に管理を実施した。	R1年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	41,608千円	40,832千円	業者委託による剪定・伐採等の管理 みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理 市民参加による保全管理作業	管理作業実施面積	業者委託による剪定・伐採等の管理面積+みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理面積+市民参加による保全緑地管理作業面積を指標とする。								
	根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市市民の森設置要綱、所沢市市民緑地設置要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	地域制緑地の指定をした緑地(市民の森等)や、市が買い入れや寄附によって取得した緑地の自然環境や植生、景観を将来に引き継ぐため、高木の剪定、不良木の伐採、除草等、適切な維持管理を行う。また、市民が安全にみどりと触れ合う場を提供するため、市民に公開している緑地の園内柵や外周柵の修繕等を行う。	45,753千円	42,296千円					37			35.8				
	期間	H6年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	15.24ha	R元年度目標	R1実績								
			1.65人	0.00人	19.63ha	R2年度目標									
		13,827千円	0.00人	1.50ha	37.0										
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	重点プロジェクトにおける新たに指定した地域制緑地の面積(指定替え含む) R元年度以降の目標は、市域の保全配慮地区における地域制緑地の指定面積	R1年度に改善した点	15. 陸の豊かさを守ろう	11. 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	177,384千円	175,715千円	植生調査 みどりの公有地化	指定面積(平成22年度を基準年度として'0とし、令和10年度までに110haを目指すものである。)	R元年度以降の目標は、市域の保全配慮地区における地域制緑地の指定面積								
	根拠法令	都市緑地法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、ふるさと所沢の緑地の寄附に関する要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)				H30年度目標			H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	市内に残された貴重な緑地を保全し未来のこどもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、緑地保全制度の指定を行い、保全管理計画を策定する。また、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得(寄附受入を含む。)により、公有地化を行う。	66,915千円	65,947千円					0.85人			0.00人				
	期間	H24年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0ha	R元年度目標	R1実績								
			7,123千円	0.00人	10,164㎡	R2年度目標									
		11,637千円	0.00人		80ha										
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	本市事業中、最も希少価値の高い、ふるさとの樹の本数を指標とした。	R1年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	5,177千円	1,958千円	保存樹木の樹木管理推進事業 保存樹木の樹林管理推進事業 ふるさとの樹管理推進事業	ふるさとの樹の指定本数	本事業中、最も希少価値の高い、ふるさとの樹の本数を指標とした。								
	根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市保存樹木等支援事業補助金交付要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)				H30年度目標			H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	市街地やその周辺のみどりの永続的な保全を図るため、保存樹木等に対する損害賠償責任保険への加入や保全管理費用の助成による所有者への支援を行う。また、保存樹木等の指定制度について市民に周知し、新たな保存樹木等の指定を行うとともに、市民の保存樹木等の保全に対する関心を高める。	3,719千円	1,283千円					0.70人			0.00人				
	期間	H27年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	3本	R元年度目標	R1実績								
			5,866千円	0.00人	1箇所	50	33								
		0.65人	0.00人	1本	50										
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当初、平成30年度で事業終了する予定で指標設定していたが、建設工事入札が不調・中止となったことにより、令和3年度まで事業を延長したため、平成27年度から令和3年度までの事業進捗率を指標とした。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	1,697千円	1,697千円	電柱移設工事 建設工事	事業進捗状況率	当初、平成30年度で事業終了する予定で指標設定していたが、建設工事入札が不調・中止となったことにより、令和3年度まで事業を延長したため、平成27年度から令和3年度までの事業進捗率を指標とした。								
	根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)				H30年度目標			H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	狭山湖周辺人道橋整備事業	1.00人	0.00人					55			55				
	期間	H27年度~R3年度	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	1本	R元年度目標	R1実績								
			8,380千円	0.00人	入札を経て、工事を発注した。	70	70								
		1.00人	0.00人		85										



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
河川課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民団体との協働による事業であるが、市でも清掃活動等に積極的に参加しており、その成果が出ている。	R1年度に改善した点	11.住み続けられるまちづくりを			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	200千円	200千円	活動団体数	活動団体数	地域に根付いた親しみのある多自然川づくりへの要望があることから、市との協働による多自然の川づくりを行う活動団体数を指標とする。				12.つくる責任 つかう責任				
	根拠法令	特になし	200千円	200千円			実績	H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	事業の目的及び具体的な内容	多自然の川づくりの整備を推進するため、市民団体等と協働し、市が指定した河川・水路の区域を対象として、ふるさとの川再生事業を行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	H30年度目標	H30実績		R1目標値が未達成の理由・分析			市民団体と維持管理を協働で行うための協議を行い、活動団体登録の準備を進めていく。		環境に配慮し、工事を実施した。		
	期間	H22年度～	0.65人	5,447千円	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析				評価者				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R元年度目標	R1実績		2			河川課長 高橋 智史				
河川課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	樹木の再利用により、成果指標の目標を達成している。	R1年度に改善した点	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	8,000千円	7,903千円	東川遊歩道整備延長	東川遊歩道整備延長	「COOL JAPAN FOREST構想」における周辺環境整備の一環として、遊歩道整備を行うことが当該事業の目的となっていることから、東川遊歩道整備延長を指標とする。				11.住み続けられるまちづくりを				
	根拠法令	河川法	6,000千円	6,000千円			実績	H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	事業の目的及び具体的な内容	「COOL JAPAN FOREST構想」における周辺環境整備の一環として、東川沿いの桜を一層魅力的なものにするため、ウッドチップ敷きなどによる遊歩道整備を行うものである。また、東川沿いの桜並木(旭橋から柳瀬川合流点)についても、継続的な維持管理を行っていくものである。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	H30年度目標	H30実績		R1目標値が未達成の理由・分析			歩しやすい遊歩道を維持していくために、ウッドチップのメンテナンス等が必要である。また、ウッドチップが東川に流れないように勾配や高さなど検討する必要もある。		歩しやすいように、ウッドチップの転圧を十分行った。		
	期間	H30～	0.65人	5,447千円	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析				評価者				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R元年度目標	R1実績		150m			河川課長 高橋 智史				
河川課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R1年度に改善した点	11.住み続けられるまちづくりを			
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	0千円	0千円	砂川堀散策路整備	砂川堀散策路整備	安全に通行できる散策路整備を進めるため、地元住民や水辺のサポーター・制度に登録されている団体等と意見を交換しながら、事業を進めていく。				12.つくる責任 つかう責任				
	根拠法令	所沢市街づくり基本方針、所沢市緑の基本方針、所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略	17,200千円	16,922千円			実績	H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
	事業の目的及び具体的な内容	子どもたちに「安全で豊かな自然の恵みに出会える場」を引き継ぐため、自然と調和した護岸とともに「水とみどりがつくるネットワーク」を構成する川沿いの散策路を整備するものである。また、河道内樹木の手入れが行き届かず立ち枯れ、倒木の危険等もあるため、これらの剪定・伐採を行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	H30年度目標	H30実績		R1目標値が未達成の理由・分析			歩しやすい遊歩道を維持していくための除草及びウッドチップ補充等のメンテナンスが必要となる。		ウッドチップによる歩しやすい散策路が整備され、地元住民から高評価を得た。		
	期間	R1～	0.00人	0千円	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析				評価者				
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R元年度目標	R1実績		60m			河川課長 高橋 智史				